

会 議 録

会議の名称	第5回南方地域学校再編準備委員会		
開催日時	令和2年11月12日(木)		
	午後 7時00分	開会	
	午後 8時20分	閉会	
開催場所	南方総合支所 2階 大・中会議室		
委員出席者	地 紙 洋 幸	委員代理	南方中学校PTA会員
	阿 部 修 也	委員	南方小学校PTA会員
	高 橋 弘 一	委員長	南方中学校学校運営協議会長
	永 浦 勝 男	委員	南方小学校学校運営協議会副会長
	千 葉 一 則	委員	西郷小学校学校運営協議会長
	伊 藤 幹 生	委員	東郷小学校学校運営協議会副会長
	山 田 俊 道	副委員長	南方地域行政区長会会長
	佐々木 寛 子	委員	南方幼稚園PTA会員
	櫻 井 麻 未	委員	東郷幼稚園PTA会員
	浅 野 貴 弘	委員	南方保育所父母の会員
事務局出席者	小 林 和 仁		学校再編推進室長
	岩 淵 裕 喜		学校再編推進室学校再編推進係長
	佐 藤 春 香		学校再編推進室主事
	佐 藤 鷹 彦		学校再編推進室主事
欠席者	千 葉 基 予	委員	西郷小学校PTA会員
	渡 邊 伸	委員	東郷小学校PTA会員
	中 野 由 奈	委員	くるみの木保育園保護者会役員
傍聴者	0名		
議事	学校再編の実施について		
挨拶	事務局	開会 午後7時00分	
	委員長	開会挨拶	
	事務局	議事に入る前に、前回及び今回の議事の内容の確認を行う。担当から説明させていただく。 (担当より内容を説明)	
	事務局	前回の会議録について、お渡しした内容で公開してよいか。 (異議なし)	
	事務局	確認が取れたので、議事に入らせていただく。進行については高橋委員長にお願いする。	
	委員長	それでは議事に入らせていただく。議事1 学校再編の実施について事務局へ説明を求める。	
	事務局	(資料に基づき学校再編の実施について説明)	

委員長	<p>教育委員会としては、子ども達がより多くの友人と対話的、協働的な学習を行うためには、学校は一定以上の規模である必要があり、そのために統合を行う必要があるとの説明であったが、この点については、保護者の方で統合に賛成という方の多くは、自分の子どもにはある程度的人数の中で交流を行って欲しいと感じていると思う。この点について、何か意見等はあるか。</p>
委員	<p>今回大規模校と小規模校ごとのメリット・デメリットを資料として出されているが、南方地域の3小学校が統合しても文部科学省で言う大規模校までの規模になるわけではない。イメージとしては、今の保護者の方が小学生だったころの学校のイメージに近いと思う。なので、大規模校のデメリットがそのまま当てはまるということはないのではないかと。また、経験的にだが、このように学校統合の話が出ると小さい学校の児童数は加速的に減っていく。以前勤務した学校において同じように児童数減少に伴い近隣の学校との統合の話になった際、地区に在籍していた子どもの半分以上が統合相手の学校へ入学した。その地区では先に幼稚園が統合され、幼稚園の子どもが幼稚園でできた友達と同じ小学校へ通うようになったことが原因として考えられる。実際地区にはもっと多くの子どもがいたが、その地区の学校に通う子どもの数はそれよりも大分少なくなった。その時も保護者の方たちが何度も話し合いを行っていた。意見として多かったのは、地域に学校が欲しいといった意見と子供の教育環境としてはある程度の児童数が必要といった意見であった。そのような話し合いが4月に赴任してから夏休みまで続けられ、最終的に統合するという結論に至った。南方地域でもそういったことが今後考えられるのではないかと。もう一つは、実際の統合となると今から5年くらい先のこととなる。今小学生の保護者の方については、そのころには小学校に自分の子どもが通っていない方も多いと思う。なので、これから小学校を利用する方たちにとってどうなのかといった視点で考える必要があると思う。</p>
委員長	<p>他に意見はあるか。おそらくこれから各地区、各団体において話し合う中で知っておきたいことや質問として出てきそうなものはあるか。</p>
委員	<p>先ほどのお話からすると、西郷地区では幼稚園がなくなったが、やはり小学校の児童数にも影響は出ているのか。</p>
委員	<p>幼稚園がなくなってから東郷小学校などに通うようになった人が増えている。</p>
委員	<p>やはり、幼稚園の友達と同じ小学校に通いたいということなのか。</p>
委員	<p>そうだと思う。学校が無くなると地域が寂れていくし、良い環境があったとしても学校がないと若い人が住みつかなくなるので、地域としてはそこが一番心配である。子どもの将来についても考える必要があるので非常に難しい判断になると思う。学校が無くなった地域については、廃校校舎の活用なども含め各地域で考えていかなければいけない。</p>
委員長	<p>その辺については教育委員会としてどのように考えているのか。</p>

事務局	<p>廃校校舎の活用方法の検討については、民間への売却や貸与などの方法も考えられるが、いずれにせよ活用方法を決定するためには、一定の時間を要することから、本委員会の中で検討を行うことは考えていない。また、地域づくりについてだが、現在は3地域ごとに学校運営協議会を設置し、学校と地域とで連携を行っている。当然、統合後の学校においても学校運営協議会を設置し、地域の方にも学校運営に協力を頂くことになる。今後、再編の話が進んだ際に、統合校の学校運営についての検討も行うことになるので、地域と学校のつながりをなくさないような方法についても検討を行っていただければと考えている。</p>
委員	<p>統合となれば、南方地域にある3つの学校運営協議会も1つの組織になるが、ただ1つになるのではなく、3つの組織での活動をいかにまとめ上げるかについては、時間をかけて考える必要があることが委員のお話からも伺える。</p>
事務局	<p>この委員会では統合の実施や、統合校の位置といった内容の話合いになっているが、ここでの話合いが進んでいけば、今度は統合校の運営にかかわる部分の検討が必要となる。PTAの運営、統合校のカリキュラム、これまで各小学校で行ってきた伝統行事をどのように継承していくかなど、地域の方たちの意見を聞かなければいけない部分も出てくることになると考えているので、学校、保護者、地域とで話合いながら統合校について検討を行っていただければと思う。</p>
委員	<p>そういった点についても時間を使って検討を行っていくと分かれれば地域の方もある程度安心できると思う。</p>
委員長	<p>他に意見はあるか。</p>
事務局	<p>議事冒頭に担当から説明させていただいた内容について補足させていただく。本日の資料については、学校規模に関してのメリット・デメリットを、都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成したものとなるので、少しイメージしづらい部分もあると思う。保護者の方が一番イメージしやすいのは、運動会や学習発表会などのイベントの時に人数が少ないとどうなるのかといった部分だと思う。また、少し私見が混ざってしまうかもしれないが、他人との話合いや意見交換といったことも大人になってからは重要になる。グループ活動を通して自分のグループ内の人と意見を交換したり、他のグループではどのような意見になったのかを確かめたりすることで、他者とのコミュニケーション能力が育まれていくことになる。そういった活動についても児童数の多い少ないによって影響が出てくることになる。そういった点も今後の学校を考える上で重要になるのではないかと考えている。学校に求めるものについては人によって様々ではあると思うが、参考までにお話しさせていただいた。もう一点、通学支援についてお話しさせていただく。先ほど担当からも説明はしたが、実際の運行ルートや時間については、統合校の位置や実際の通学者の居住地などが分からないと決定はしないが、本日は南方地域内の各地区から3小学校までの移動時間を参考としてお示しした。スクールバス</p>

		<p>を運行するとなればこの時間に児童の乗降時間などが追加されることになる。登米市では通学についてはスクールバスを活用した場合概ね1時間以内としてはいるが、児童の負担軽減を念頭に通学支援を行っていきたいと考えている。</p>
委員長		<p>事務局から補足説明があったが、委員から意見はあるか。</p>
委員		<p>教育委員会の再編についての考え方はこれまでの説明で内容は理解できた。今度は、それを受けての南方地域学校再編準備委員会としての考え方をまとめていく必要があると思う。前回の会議で統合の方向で進めていくとしたが、なぜ統合することを選択したかの理由を今後各団体の方たちに対して説明することになる。先ほど事務局から説明があったが、今後の子ども達の教育環境を考えた時に望ましい形は何なのか。南方地域の各小学校の児童数の推移については、昨年度から見る機会が多くあったが、東郷小学校においてもいずれは減少していくこととなっている。以前の会議で東郷小学校だけ単独で残った場合に児童数が減少していき、学校運営が立ちいかなかった場合はどうするのかを質問させていただいた。当然、やってみなければ分からないことではあるが、人口推移を見るといずれはそうなる可能性がある。現時点でも考えられる可能性については、1つつ検討していき、数年後実際に学校に通っている子ども達にとってより良い環境になると考えられる選択をしていく必要がある。先に、南方小学校と西郷小学校が統合した場合は、修繕にしても新築にしても統合校舎は2校が統合した場合の規模での整備になると思うが、その後に東郷小学校が統合となった際に、施設の規模から見て受け入れることが可能なのかどうかも関わってくる。南方地域については児童数の減少もだが校舎の老朽化が一番の課題のはずだったのでその点についても考える必要があると思う。</p>
委員長		<p>東郷小学校を単独で残し、段階を踏んで統合といった意見はアンケートでも挙げられている。東和地域は何年か前に一度小学校を統合しているがそこから児童数が減少し、今回また統合の話が出ている形となっているが、南方地域で見た場合にどのような選択をすべきか。現状を見ての判断もあると思うが、10年、20年先を考えた上での判断が必要ではないかとの意見であったが、他に意見はあるか。</p>
委員		<p>今後も児童数が減っていくことは分かっている中で、仮に東郷小学校が今回の統合の話に反対し、単独で残ったとして、いずれ児童数が少なくなって統合して欲しいといった要望が出た際、先に統合を実施している子ども達のグループの中に後から入っていくことになるので、子どもにとって負担が大きいように感じる。であれば、最初から3校で統合する方が南方地域の小学校として新しいスタートを切りやすいと思う。自分の子どもがいる間はそれなりの人数が確保できているからという考え方になるのは分かるが、さらに人数が減った時に学校に通っている子ども達のこと考えた方がよい。</p>
事務局		<p>前回会議の中で東郷幼稚園とくるみの木保育園の委員の方から保護者の中に反対意見や、不安を感じている人が多くいるとの話があり、事務局</p>

	<p>の方でもどのような意見があるのかをお聞きするために委員の方に話を伺ったところ、東郷幼稚園において保護者の方たちに集まっていただき、直接教育委員会に対して話をさせていただいた。主な意見としては、自身の経験から小規模校の方が良いといった意見、通学支援にしても校舎の位置にしても具体性が見えない中で判断できないといった意見、近くに小学校があることを理由に東郷地区に移り住んだといった意見が挙げられた。また、話を伺うと絶対に反対というわけではなく、話し合いを重ねながらより良い方向に進めていければといった話もいただいている。その点については、事務局でも丁寧に説明を行っていきたい。</p>
委員長	<p>委員から見てどういった状況になっているのか。</p>
委員	<p>今時点で統合に賛成といっている保護者はかなり少ない。一番気にしているのは人数が増えたことによるいじめや不登校の問題が増えないかについてである。校舎のことについても既存校舎を使うとなった際の問題点についても意見が多い。その中でも話し合いを通して良い方向へ進んでいければといった意見も少数ではあるが存在する。</p>
委員	<p>以前のアンケート結果だと賛成の方が多かったが、何か考えられる理由はあるか。</p>
委員	<p>統合校が東郷小学校の校舎になるという前提で回答をしている人が多かった。</p>
委員長	<p>再編に対して各団体に意見がある。その中でこの委員会として今後どのように進んでいくかだが、前回の会議では、再編を進める方向性で今後の話し合いをしていくこととした。今後、統合校の位置などの話が進んでいく中で、また、新たな意見が出ると思う。今回の会議では、3校を1校にする形での統合ということで話を進めたいとの意見があったがいかがか。</p>
委員	<p>今この場で決めてしまった場合、東郷幼稚園の保護者の方が納得しない可能性がある。先ほど人数が増えるといじめや不登校の件数が増えるとお話があったが、逆に人数が少ない場合、人数も少なく、クラス替えもできないことから、最初に築かれた人間関係がずっと続くことになる。その中で一度でもクラス内でいじめなどが発生してしまえば、小さい集団なので次は自分が被害者にならないか子どもが委縮してしまうなど、影響が長引く可能性があると思う。</p>
事務局	<p>先ほど東郷幼稚園で行った話し合いについて報告させていただいたが、実際に保護者の方の話を聞いて、統合に対して多くの意見があったが、全体的には、絶対に反対というよりは、話を進めていく中で課題について一つずつ解決していくことで多くの方が納得できるような形にして欲しいといった話であったと思っている。</p>
委員	<p>色々話を聞かせていただいたが、やはり、将来的なことを考えると統合は必要になると思う。ただ、統合をすると決めた際には教育環境が良くなるような将来展望を示して欲しい。それがイメージできればもっと理解が</p>

	<p>得られるのではないか。</p>
委員	<p>地域から見れば寂しい気持ちはあるが、将来の子ども達のことを考えると統合の方が良いのではないか。学校の先生を経験されている方もいるからご存知だと思うが、学校の先生の人数が少ないと学校内の事務作業が一人の先生に集中してしまう。そのため、子どものために使う時間やエネルギーが削がれてしまう。先生にはなるべく多くの時間を子ども達に費やして欲しいという気持ちの保護者は多いと思うので、統合にはそのような利点もあるのではないか。また、先ほども意見が出ていたが、段階的に統合するとなったら、後から統合する学校の子どもが負担を感じないか心配だ。</p>
委員長	<p>3校での統合を実施するといった意見が出ているが、この委員会としてその方向で進んで良いか。先ほど東郷幼稚園について、話し合いを進め、具体的な内容が見えてきた中で同じ方向を向くことは可能ではないかとの意見も出たということなので、3校を統合するというところで、今後の話し合いを進め、教育委員会には今後の具体的な計画を準備していただくということで良いか。</p>
委員	<p>3校統合となった場合に現在の校舎で受け入れが可能な校舎はあるのか。</p>
委員	<p>現在の教室数で考えれば可能な校舎は無いのではないか。さらに、ニュース等で調べると、文部科学大臣が30人学級を推進するといった趣旨の発言をしている。30人学級となればさらに学級数が増え、それに伴い、必要となる教室数も増えることが考えられる。校舎の位置を検討する場合は、そのような可能性についても視野に入れておいた方が良い。</p>
委員長	<p>他に意見はあるか。</p> <p>(意見無し)</p>
委員長	<p>それでは、南方地域学校再編準備委員会としては、3校統合の方向性で今後の話し合いを行っていくこととする。今後の進行についてだが、今日の会議結果を受けて各団体においてどのような話し合いを行っていくかが重要になると思う。その点について事務局ではどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>まずは、本日の会議の結果を各団体へ落とし込んでいただき、意見が出れば次回の会議の場で発言していただければと思う。従って、次回の会議を開催する前に各団体において何かしらの形で意見集約を行っていただくことになる。次回の開催日程の参考までにだが、意見集約を行うとすればどれくらいの期間が必要になるか、可能な範囲で教えていただきたい。</p>
委員長	<p>日程について、何か意見はあるか。</p> <p>(意見無し)</p>

委員長	<p>この場で決めるのは難しいので、事務局と委員とで連絡を取りながら調整を行うことで良いか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	事務局もそれで良いか。
事務局	はい。
委員長	<p>本日の議事は以上とするが、他に何かあるか。</p> <p>(なし)</p>
委員長	それでは、本日の議事は以上とする。進行を事務局へお戻しする。
事務局	以上で本日の会議を終了する。
事務局	閉会 午後8時20分